

# 南部・東部振興の主な取組

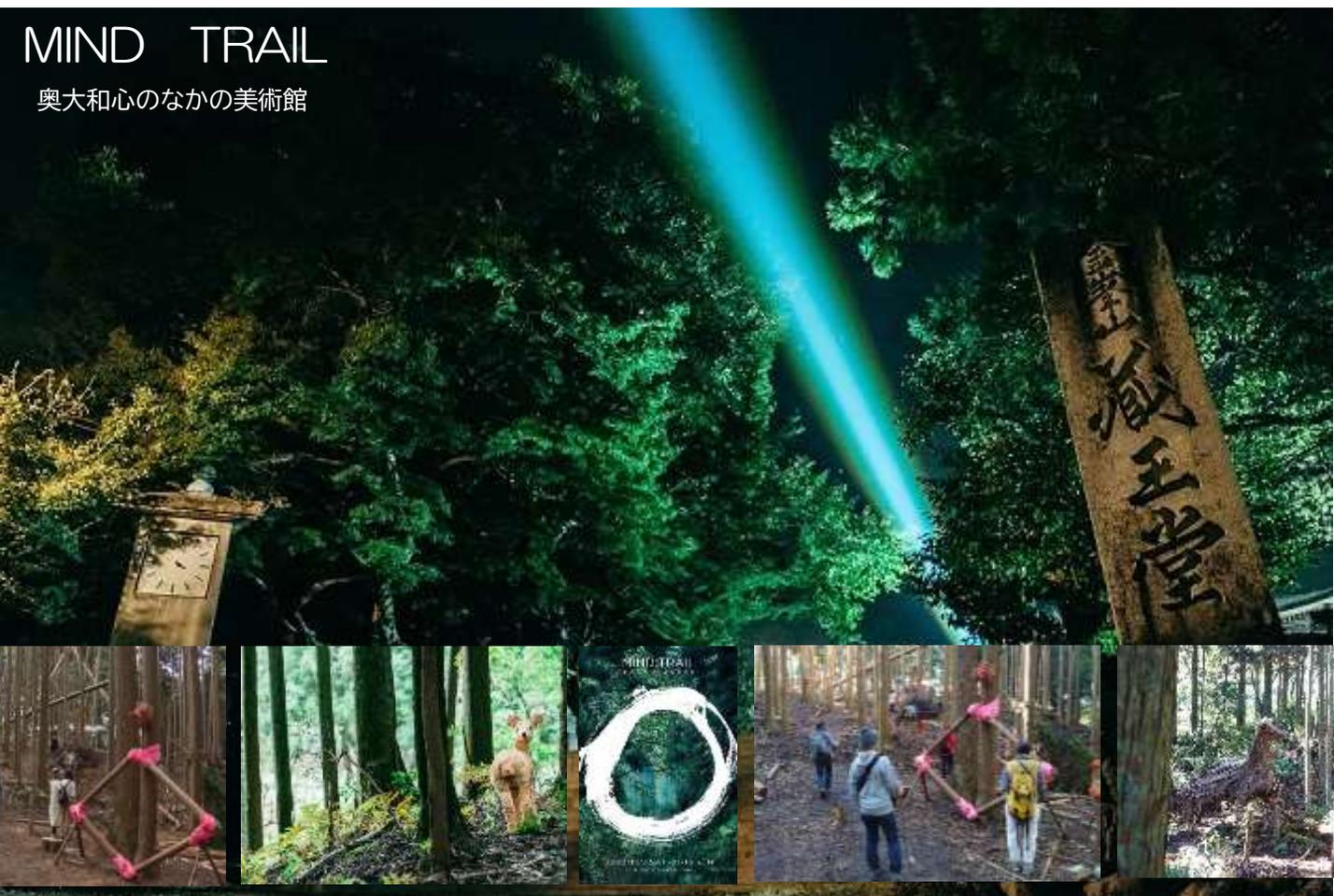
令和3年6月

奈良県

本資料は、平成27年3月に策定した「奈良県南部振興基本計画」及び「奈良県東部振興基本計画」（平成27年度～令和2年度計画）の成果と、令和3年3月に策定した「奈良県南部・東部振興基本計画」（令和3年度～令和7年度計画）の主要予算等についてとりまとめたものです。

MIND TRAIL

奥大和心のなかの美術館



目指す姿

目標：2020年度までに、**南部地域・東部地域の人口の社会増減**を**プラス**にします



南部地域・東部地域において、いずれも「転出」が「転入」を上回る「転出超過」の状態になっています。傾向としては横ばいとなっています。

### 南部地域の人口の社会増減



南部地域の社会増減数は、基準年（2013年）と比較して、社会減は解消傾向となっていますが、「転出超過」の状態は続いています。

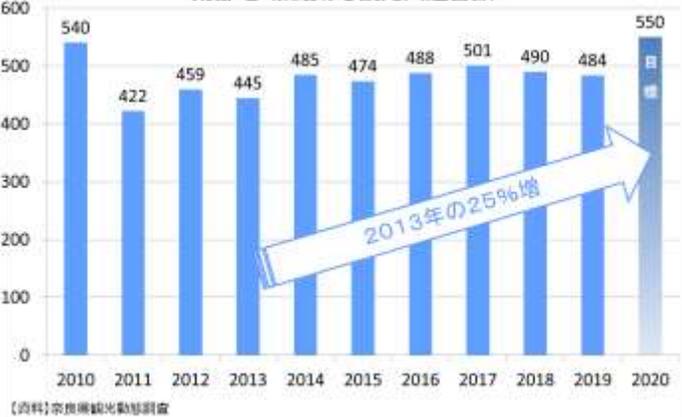
### 東部地域の人口の社会増減



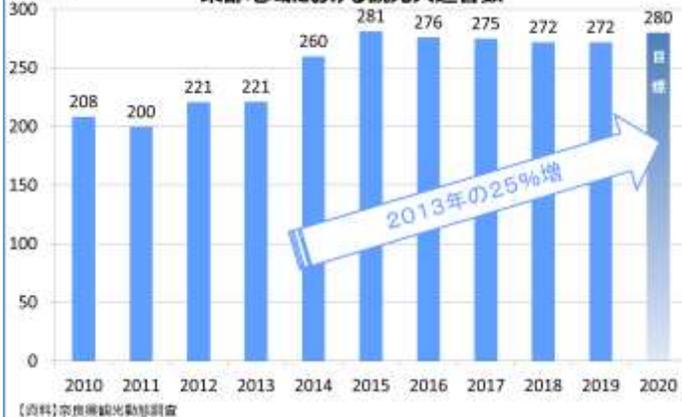
東部地域の社会増減数は、基準年（2013年）から、横ばい状態が続いており、社会減は解消されておらず、「転出超過」の状態は続いています。

**目標：2020年の観光入込客数を南部地域550万人、東部地域280万人にします**

### 南部地域における観光入込客数



### 東部地域における観光入込客数



観光入込客数は、基準年（2013年）と比較し、特に東部地域において大きく増加したものの、近年は、大阪北部を震源とする地震や、大雨、猛暑等の自然災害が繁忙期に発生したことの影響もあり、横ばい傾向となっています。

**目標：2020年の宿泊客数を南部地域55万人、東部地域15万人にします**

### 南部地域における宿泊客数



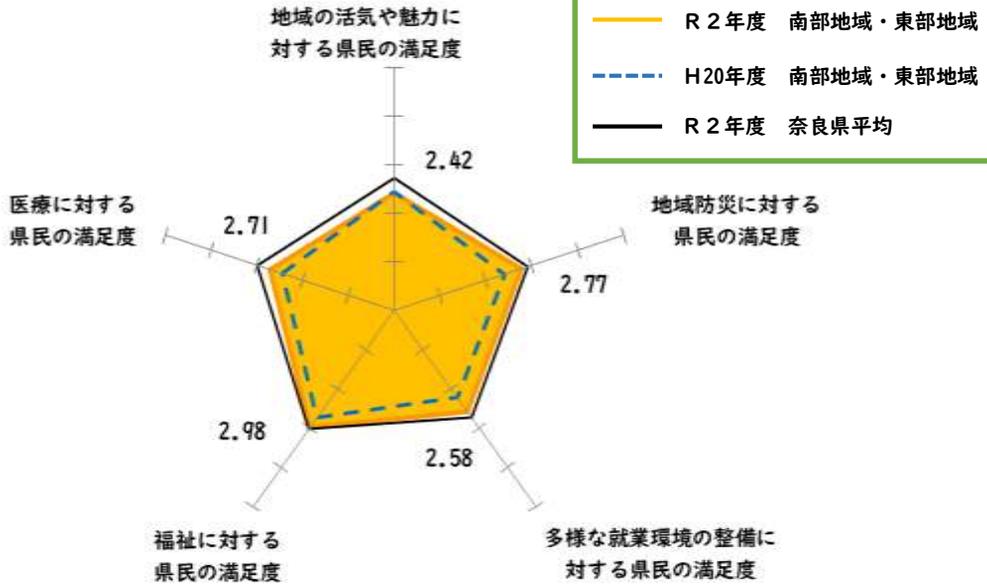
### 東部地域における宿泊客数



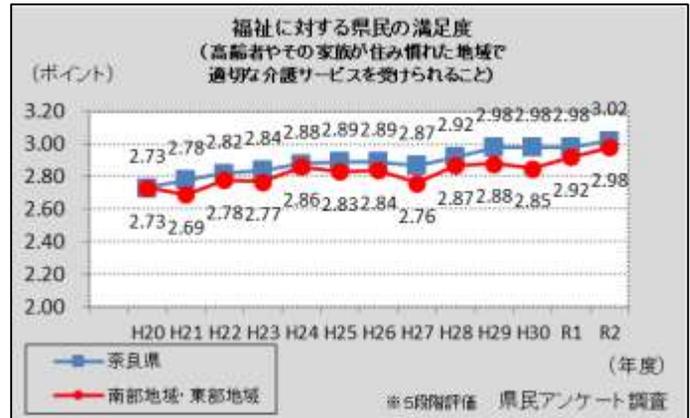
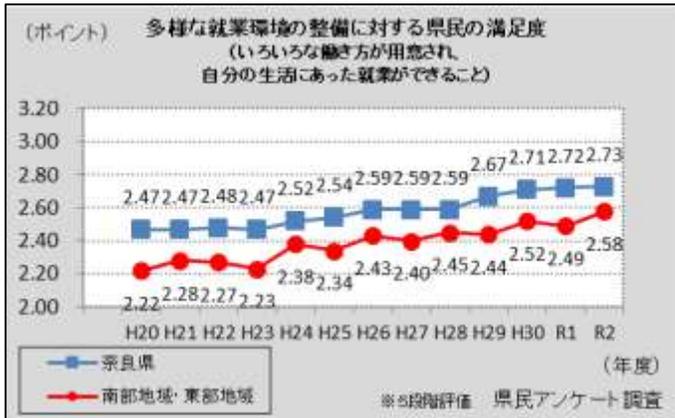
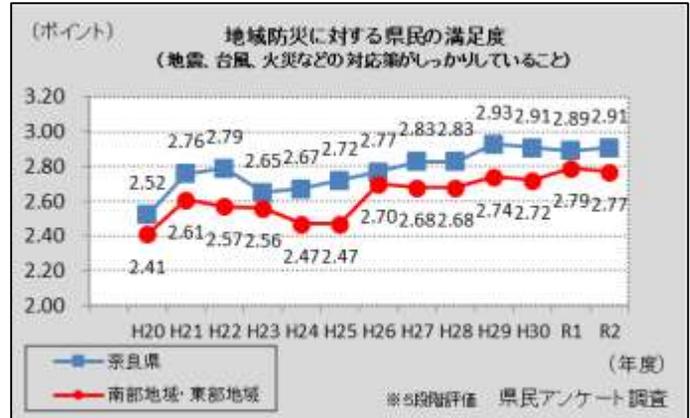
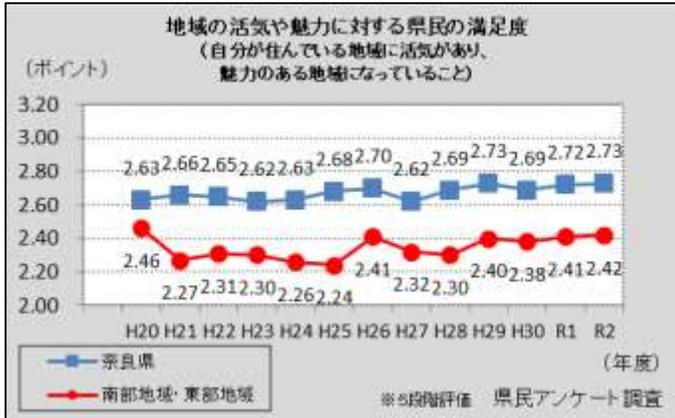
宿泊客数については、基準年（2013年）と比較して、南部地域では微減状態が続いていましたが、特に2018年、2019年は、台風等の自然災害の影響を受け大きく減少しました。また、東部地域においては、基準年から増加傾向にありましたが、近年の自然災害に加え、施設の一部休業等の影響を受けたことにより、2018年、2019年は、大幅に減少しました。

# 目指す姿を達成するための取り組み状況

## 《現状》



## 《トレンド》



毎年行われている県民アンケート調査によると、平成26年度（前回計画策定時）と比較して「医療に対する県民の満足度」は大きく向上しており、また、「福祉に対する県民の満足度」は、県全体平均とほぼ同じポイントとなっています。

一方、「多様な就業環境の整備に対する満足度」の項目については上昇傾向にあり、県全体平均との差も近づいています。また、「地域の活気や魅力に対する満足度」の項目については、横ばい傾向であり、県全体平均と大きな差が見られます。

## これまでの取り組み状況



南奈良総合医療センターの開院（2016年）



ドクターヘリの運航開始（2017年）



京奈和自動車道 御所南IC～五條北IC 開通（2017年）



御所IC周辺産業集積地の形成



十津川道路全区間の開通（2019年）



フォレスターアカデミーの開校（2021年）



トレイルランニングレース「Kobo Trail」の定着（2014～）



歩く芸術祭「MIND TRAIL」の開催（2020年）

# 訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

R2年度  
取組

## （1）魅力を発見する、創る

- 特色ある食と宿泊施設等の整備推進
- 美しい景観づくり
- 地域資源を活用した魅力づくり
- 多様なスポーツ施設の整備

### ○奈良県南部・東部振興基本計画の策定

南部地域・東部地域の更なる振興に取り組むため、目指す姿、現状と課題、取組の方向性等で構成された「基本計画（令和3年度～令和7年度）」を策定



奈良県南部・東部振興基本計画  
～令和3年3月策定～

### ○農村資源を活用した農村地域づくり

農村景観や特産物など魅力ある地域資源を活用した活動団体に対して、

- ①研修会の開催
- ②情報発信
- ③活動の支援 を実施



宿泊施設増改築・設備整備支援資金  
活用事例（川上村）

### ○みつえ高原牧場の活用

畜産交流拠点の整備に向けて、畜産拠点、試験研究、観光振興について検討し、畜産団地の整備に向けて、飼育に必要な用水の調査を実施

### ○宿泊施設への支援

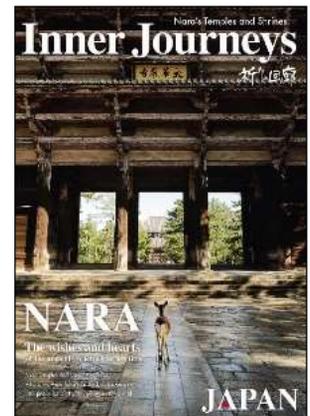
県内の既存宿泊施設の増築・改築及び設備を設置する宿泊事業者に対し利子補給補助

- ・宿泊施設増改築・設備整備支援資金 1件（南部・東部1件）

### ○滞在型観光推進事業

滞在型周遊型観光の拡大に向けた取組を展開

- ・「祈りの回廊」パンフレット、インバウンド向けサイトページ等により、南部・東部地域への誘客を促進

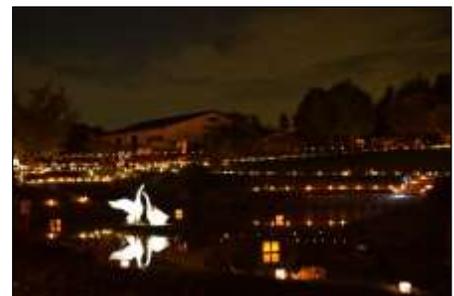


祈りの回廊（インバウンド版）

### ○うだ・アニマルパーク誘客対策事業

関係人口の増加を図るため、宇陀の魅力を活かしたイベントを開催

- ・「ほんのりあんどん」 R2.8.21（金）～22（土）：来園者 3,300名
- ・「動物愛護フェスティバル」 R2.9.19（土）～21（月祝）  
：来園者 9,600名
- ・「マルシェ・ド・ママン」 R3.3.14（日）：来園者3,400名
- ・「春色フェスタ」 R3.3.20（土祝）：来園者2,900名



ほんのりあんどん（アニマルパーク）

他

# 訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

## （2）知ってもらう

R2年度  
取組

### ○情報発信の強化

#### ○大手旅行雑誌等への広報

- ・旅行雑誌「じゃらん」の「大人のちょっと贅沢な旅（春号）」への巻頭挟込
- ・抜刷冊子（10,000部）の作成



じゃらん（春号掲載記事）

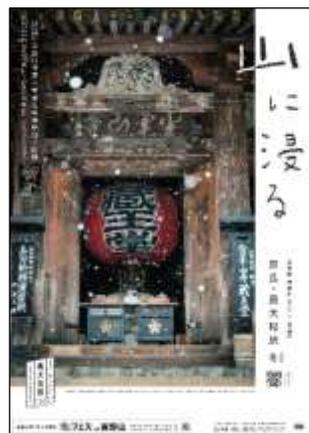
#### ○鉄道事業者と連携し、奥大和地域の魅力を発信

近畿日本鉄道株式会社との連携

- ・「秋」「冬」の奥大和をテーマに旅行商品化
- ・移住促進ポスターの制作
- ・広報物の近鉄駅構内掲出

JR西日本との連携

- ・旅行商品の造成・広報パンフレット、魅力発信ポスターの制作
- ・誘客・周遊促進アプリ「ココシルなら奥大和」の運用
- ・ワーケーションモニターツアーの実施



奈良県×近鉄 魅力発信ポスター

#### ○シンガポールでのポップアップストアを開催

- ・奥大和地域で活躍する事業者が作成した木工家具・雑貨や食品・食器類などの商品の海外販路拡大・高付加価値化を図る（1月15日～2月21日 ルミネシンガポール）



シンガポールでのポップアップストア

#### ○奥大和地域での暮らしや文化を通じた関係人口を創出

- ・動画コンテンツ「奥大和であいましょう。」を作成、奥大和の魅力を首都圏に向けて発信。
- ・河瀬直美監督を起用し作成した、奥大和の暮らしや仕事をテーマにした動画「美しき日本」をYouTubeで配信

#### ○観光情報発信事業

県内外の主要駅や集客施設等に設置しているデジタルサイネージを活用し、県内各地の観光情報を提供

※放映場所：図書情報館、イオンモール大和郡山、JR王寺駅 他

※紹介内容

- ・野迫川村 「雲海」
  - ・天川村 「洞川温泉」
  - ・黒滝村 「道の駅」
  - ・十津川村 「清納の滝」
- ほか



デジタルサイネージによる情報発信（天川村）



「奥大和であいましょう。」

# 訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

## （3）訪れてもらう、体験してもらう

R2年度  
取組

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| ○スポーツイベントの開催      | ○音楽・芸術イベントの開催 |
| ○地域資源を活用したイベントの開催 | ○交通アクセスの支援    |
| ○おもてなし力の向上        | ○誘客促進の仕掛けづくり  |

### ○奥大和の特色を活かしたイベントを開催

- ・えんがわ音楽祭 in 洞川（10月17日～18日）  
来場者数 101人（宿泊者限定）
- ・奈良クラブと連携したサッカーイベント  
「奈良クラブ春季キャンプ」（2月3日～7日）  
「サッカー教室」（2月6日）  
参加者 17人（下北山村、上北山村、北山村の児童）



えんがわ音楽祭

### ○奥大和地域誘客イベントを開催

奥大和地域を舞台にした歩く芸術祭「MIND TRAIL」を開催

- ・吉野町（10月3日～11月15日）
- ・曾爾村（10月10日～11月15日）
- ・天川村（10月18日～11月15日）



奈良クラブ春季キャンプ

### ○「奈良県の宝物」セミナー・グランプリを実施

奥大和地域の生産者、加工・販売者等が異分野人材と協業し、商品の成長、事業者の成長を促すプロジェクトを実施

- ・セミナー 4回実施（30事業者が参加）
- ・講師 羽根 拓也氏（(株)アクティブラーニング代表取締役）
- ・グランプリ（3部門） 13組15事業者が参加  
→各部門グランプリ、準グランプリ受賞者は全国大会に出場  
（2部門でグランプリを受賞）  
・全国大会グランプリ受賞者は世界大会に出場（時期未定）



MIND TRAIL

### ○「うまし奈良めぐり」推進事業

五感で楽しむ蓮時間 お寺でランチの開催

生命科学博士でもある住職に蓮の魅力についてお話を伺いながら鑑賞ランチはミシュラン1ツ星を獲得した「五條源兵衛」の特製弁当。



奈良うまし夏めぐり 生蓮寺（五條市）



奈良県の宝物グランプリ

# 住み続けられる地域づくり（定住の促進）

## （1）働きやすくする 【1 / 2】

R2年度  
取組

### ○農産物等のブランド化・生産拡大の推進

#### ○チャレンジ品目、リーディング品目等への支援

- ・老木化がすすむハナモモの植え替え支援（20a）
- ・柿：生産性及び品質の向上を図る「縮伐・せん定見本園」の設置（5か所・110a）
- ・アマゴ：産卵場造成、卵及び親魚の放流
- ・アユ：健全な種苗の養成及び放流



柿園での見本園の設置  
（縮伐・せん定作業）

#### ○首都圏等への県産農産物の物流確保支援

- ・首都圏へ宅配便を利用した農産物供給の取組補助
- ・首都圏等への物流確保を目的として、出荷者と運送業者とのマッチングを実施



農産物・農産加工品の商談会場  
（幕張メッセ）

#### ○首都圏等への県産農産物等の商流確保支援

- ・東京都内の農産物及び農産加工品の商談会に奈良県ブースを確保し、県内事業者の商品を出展（17事業者20商品）

#### ○農地マネジメントの推進

- ・県、なら担い手・農地サポートセンター、市町村、農業委員会をメンバーとする農地マネジメントチームにより、担い手への農地のマッチング活動を実施
- ※南部・東部地域で54.3haのマッチングを実施（R2年度実績）



農地の貸し借り（マッチング）を実施する  
農地中間管理事業制度をPR

#### ○総合的な鳥獣被害対策の支援

- ・被害状況調査（4月～6月）
- ・若手狩猟者確保のための各種活動実施（4月～3月）
- ・各市町村が実施する鳥獣被害防止対策に対し補助（国交付金、県補助金）
- ・人材育成のための講習会開催（8月～3月）
- ・ならジビエ料理フェアの開催（1月～3月）

#### ○シカ等の個体数調整

- ・森林被害緊急対策広域協議会を開催し、シカ捕獲事業実施（11月～3月）
- ・ニホンジカ個体数推定および現地調査（10月～1月）
- ・（第1次）ニホンザル第2種特定鳥獣管理計画の策定（令和3年4月～5カ年計画）



捕獲現地研修

# 住み続けられる地域づくり（定住の促進）

## （1）働きやすくする 【2 / 2】

R 2 年度  
取組

- 「A・B・C材全ての材を出して使う」林業・木材産業の推進
- 漢方のメッカ推進
- 企業誘致の推進
- 地域の産業興し

### ○儲かる施業森林の掘り起こしと施業提案

- ・施業提案チームによる施業提案森林の掘り起こし、候補森林の現地調査等を実施  
（4箇所・3市村：宇陀市・曾爾村・十津川村）
- ・施業提案森林において木材生産を実施（10団地・4市村）  
（宇陀市・明日香村・曾爾村・十津川村）
- ・森林経営管理制度に関する市町村支援を実施  
（全市町村・445回）



代官山蔦屋書店における奈良の木のPR

### ○県産材の利用促進

- ・東京・奈良の蔦屋書店や東急ハンズ新宿店における奈良の木フェアの開催
- ・高岡木材市場（富山県）における奈良の木展示・即売会の開催
- ・木質バイオマス利用施設の整備を支援  
（天川村 木質資源利用ボイラー）
- ・公共建築物の木造化に向けた関係者間による勉強会を実施  
（木造公共建築物の特性(コスト等)比較、材の調達シミュレーション）



バカマツタケの林内での発生

### ○食用きのこの人工栽培技術の開発

- ・バカマツタケの林内での定着ときのこの発生、試験地の継続調査

### ○漢方のメッカ推進プロジェクト

- ・薬用作物栽培の省力化支援、販路拡大支援等を実施
- ・キハダの育苗と木材利用について研究を実施

### ○奈良県産スギ材を用いた楽器の開発

- ・スギ弦楽器を用いた県産優良材のPR活動（展示、演奏会など）
- ・桶太鼓の音響実験（主観評価）の実施



吉野スギを用いた  
桶太鼓の音響試験

### ○木材の利用、森林・林業の試験研究及び技術開発

- ・奈良県産スギ材・ヒノキ材を用いた衝撃吸収フローリングの開発、中長距離集材に適合した架線システムの構築、など8課題について、調査・研究を継続的に実施

### ○中南和振興のための産業集積地の形成を推進

### ○制度融資 創業支援資金（南部・東部枠）

- ・令和2年度実績 7件 飲食、建設、宿泊 ほか



京奈和自動車道御所IC周辺

# 住み続けられる地域づくり（定住の促進）

## （2）暮らしやすくする

- 健康・医療・福祉・介護の充実 ○教育の充実 ○子育ての支援  
○買い物等の支援 ○移動手段の確保 ○文化の振興 ○集落の維持・活性化

### ○介護予防・日常生活支援の充実

市町村職員の地域マネジメント力向上を支援するため、  
総合事業充実のノウハウを有するアドバイザー  
によるワークショップを開催（黒滝村）



ワークショップ（現地支援）  
（黒滝村デイサービスセンター）

### ○東和及び南和の地域包括支援センターで構成する 連絡会の運営支援

### ○地域ケア会議を活用して自立支援に取り組む市町村への支援

令和元年度に作成した「自立支援型地域ケア会議運営マニュアル（奈良県版）」の活用方法について、  
県内市町村及び地域包括支援センター等に周知し、同会議の開催・運営の支援を推進

### ○AIを活用した高齢者支援システムの構築

・電話を活用したAIによる介護予防、安否確認等の機能を備えた高齢者  
支援システムの導入・運用に関する検証に必要な実証実験を実施

R2年度 第1次実証実験：黒滝村

第2次実証実験：五條市、黒滝村、川上村



ドクターヘリ

### ○ドクターヘリの運航

・R2ドクターヘリ出動件数 南部地域187件、東部地域64件  
（県全体 441件）

### ○奥大和コミュニティナース育成事業

住民の安心や健康意識の向上を目指し、地域で活動を行う  
「コミュニティナース」人材の普及・育成のため、講座を実施。

受講者：R2年度12名、R1年度10名、H30年度11名

導入市町村：山添村、天川村、川上村、五條市、大淀町



コミュニティナース育成講座

### ○地域産業を支える人材の育成に必要な 備品の整備

職業教育に必要な実習備品を整備

・御所実業高校：トータルステーション



トータルステーション  
（御所実業高校）

# 住み続けられる地域づくり（定住の促進）

## （3）いざというときに備える 【1 / 2】

R2年度  
取組

- 紀伊半島アンカールート of 整備
- 効率的・効果的な道路防災対策の推進

### ○国道168号五條新宮道路の整備推進

【新天辻工区(県)、阪本工区(県)、長殿道路(国)、  
風屋川津・宇宮原工区(国)※、十津川道路〔Ⅱ期〕  
※風屋川津・宇宮原工区(国)の起工式（R2年9月）

### ○国道169号の整備推進

【御所高取バイパス(県)、高取バイパス(県)、伯母峯峠道路(国)】

### ○災害に強い道路ネットワークの形成

地域を支える主要な道路ネットワークの形成  
国道25号 切幡工区(山添村切幡)等

### ○道路防災対策

法面や路肩の道路防災対策の推進  
国道169号(上北山村白川)等

### ○道路施設の老朽化対策

橋りょう、トンネル等の老朽化対策の推進  
橋りょう：国道169号 下高尾橋（上北山村西原）等  
トンネル：国道169号 大里トンネル（下北山村大里）等

### ○市町村管理道路施設の老朽化対策

市町村が管理する道路施設の点検・  
診断及び修繕工事を垂直補完・水平  
補完により支援



国道25号 切幡工区  
(山添村切幡)  
【R3年3月 一部開通】

《道路防災対策》



国道169号（上北山村白川）



# 住み続けられる地域づくり（定住の促進）

## （3）いざというときに備える 【2 / 2】

R2年度  
取組

- 土砂災害対策の推進と山地災害の予防と復旧 ○河道整備
- 災害に強い森林づくり ○災害に強い情報ネットワークづくり ○地震に強い地域づくり
- エネルギーの確保 ○防災力向上と紀伊半島大水害の次世代への継承
- 紀伊半島大水害の復旧の完了

### ○治山事業による復旧（令和2年度末現在）

- ・ 県実施箇所50箇所のうち48箇所完了、残り2箇所
- ・ 国実施箇所26箇所のうち7箇所完了、残り19箇所

### ○スマートハウスの普及を促進

- ・ 普及実績 299件（南部・東部 19件）

### ○大規模広域防災拠点の整備

- ・ 計画に必要な調査・設計・測量の実施
- ・ 整備構想の検討 等

### ○自主防災組織の活性化、防災教育・啓発の推進

- ・ 自主防災リーダーの養成（南部・東部：4人）

### ○施業放置林の整備

- ・ 森林の公益的機能増進を図るため、施業放置林において強度間伐を実施（十津川村他21市町村、1,019ha）



民有林直轄治山事業 十津川村五百瀬



復旧治山事業 川上村高原



非常用LPガス発電設備



奈良県防災講演会



# 住み続けられる地域づくり（定住の促進）

## （４）移り住んでもらう

- 二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくり
- 二地域居住・移住を受け入れる拠点整備
- 移住者の働く場の確保

### ○移住者の交流拠点の運営

- ・「奥大和移住定住交流センター～engawa～」に移住・定住相談窓口を設置し情報提供を実施



奥大和移住定住交流センター「engawa」

### ○移住、二地域居住及び定住に向けた活動

- ・地域受入協議会の活動を支援（申請1件）  
五條市

### ○移住促進施設の整備

- ・市町村が実施する移住促進施設の整備に係る支援（申請3件） 野迫川、下北山村（2件）



移住促進施設の整備（野迫川村）

### ○奥大和移住・定住連携協議会の運営

- ・地域住民を対象に移住情報や地域の魅力を掲載した「深深」を1月、2月に発行
- ・移住希望者を対象に、奥大和の魅力、移住者の暮らしや仕事、地域で活躍する人物等を紹介する「悠然」を3月に発行
- ・大阪堀江萬福寺で奥大和地域の各市町村のコンテンツやキーパーソンとつながる交流イベントを11月に実施  
参加者 13人
- ・市町村担当者を対象とした研修会の開催（4回）
- ・奈良テレビによる奥大和地域の市町村の動画制作講座の実施と作成動画等の放映



移住希望者向けパンフレット「悠然」

### ○ふるさと創生協力隊の配置

- ・南部・東部地域の複数の市町村にまたがる広域的な地域振興活動に従事する人材を県で直接採用、配置

### ○奥大和で働く人材の育成

- ・奥大和クリエイティブスクール：奥大和地域で活躍する人材を育成するため、少人数のグループでの実践的なセミナー・プログラムを実施  
テーマ 「ローカルデザインの流儀を学ぶ」



地域住民向け「深深」  
（全戸配布）

（チームで取り組む「プロジェクトベースドラッシング形式」による3つのプロジェクトで実施）

対象者 地域で起業を目指す方、地域で仕事を創りたい方、企業の代表者・従業員、学生等

参加者 19人

県ではこれまで、南部・東部地域の将来を見据え、移住者の受入体制の整備や様々なイベントの実施などにより、地域の振興を図ってきましたが、今なお続く急激な人口減少をくい止めるには至っていません。

このため、改めて県南部・東部地域において持続可能な地域社会を形成していく新たな「南部・東部振興基本計画」を策定し、南部・東部地域の振興を図ることとしました。

## 1. 計画の期間

令和3年度から令和7年度までの5年間

## 2. 重点目標

「誇らしい『都』づくり」の実現に向け、南部・東部地域において、住みよい環境づくりを進めるとともに、「働く場」と「働く人」を増やし、人口減少をくい止めることにより、地域の持続的発展を図ります。

- 重点目標を達成するためのK G I（重要目標達成指標）：令和7年度  
「南部・東部地域における人口の社会増減」：マイナスからの脱却
- K G Iを達成するためのK P I（重要業績評価指標）：令和7年度
  - ・生産年齢人口：社会・人口問題研究所による将来人口推計を上回る
  - ・観光入込客数：830万人（R 1実績756万人）
  - ・宿泊客数：70万人（R 1実績49万人）

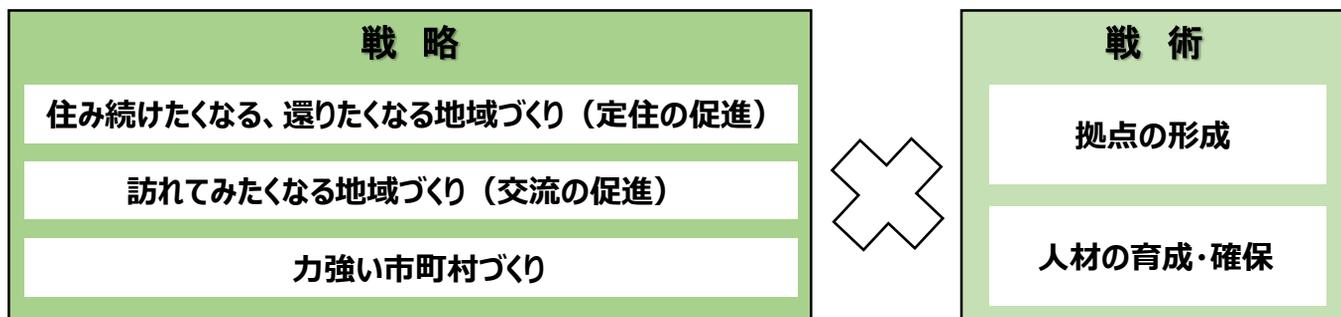
## 3. 戦略の3本柱

南部・東部地域の県民が地域に誇りを持つという視点から以下の3つを計画の柱とします。

- 【1】住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）
- 【2】訪れてみたいくなる地域づくり（交流の促進）
- 【3】力強い市町村づくり

## 4. 目標を実現するための新たな戦術

南部・東部地域を持続的に発展させるため、人が集まる「拠点の形成」と地域を支える「人材の育成・確保」を目標実現のための新たな戦術とします。



**(南部・東部振興関係)**

令和 3 年度当初予算 (令和 2 年度 2 月補正予算含む)

48,106 百万円

【令和 2 年度当初予算 (令和元年度 2 月補正予算含む) 45,654 百万円】

※新型コロナ対策にかかる制度融資事業を除いて集計しています。

**(南部・東部振興のための取組の戦略)**

※下記事業は再掲を含むため合計は上記と一致しません

**戦略 1. 住み続けたくなる、還りたくなる地域づくり (定住促進)**

<b>(1)働きやすくする (P16)</b>	<b>13,058 百万円</b>
・地域経済の活性化 ・森林環境管理制度の推進・林業の振興	・食・農・畜産・水産業の振興
<b>(2)暮らしやすくする (P18)</b>	<b>1,788 百万円</b>
・福祉・医療の充実 ・道路インフラの整備促進	・教育・子育て環境の充実 ・通信インフラの整備促進
<b>(3)いざというときに備える (P19)</b>	<b>36,318 百万円</b>
・防災・減災対策の推進	

**戦略 2. 訪れてみたいとなる地域づくり (交流促進)**

<b>(1)魅力を知ってもらう (P21)</b>	<b>810 百万円</b>
・魅力の創出と情報発信の強化	・美しい景観づくりの推進
<b>(2)魅力を体験してもらう (P22)</b>	<b>18,884 百万円</b>
・滞在型・宿泊型観光の推進 ・地域の魅力を活かした文化・スポーツ・食イベント等の実施	
<b>(3)移り住んでもらう (P23)</b>	<b>103 百万円</b>
・市町村等と連携した移住・定住支援 ・若者をターゲットとした移住施策の推進	

**戦略 3. 力強い市町村づくり**

<b>(1)「奈良モデル」の実行 (P24)</b>	<b>1,053 百万円</b>
・市町村と連携したまちづくりの推進	・「奈良モデル」の推進
<b>(2)市町村行政経営向上への取組支援等 (P25)</b>	<b>2,220 百万円</b>
・市町村行政経営向上への取組支援	・地域デジタル化の推進

# 住み続けたいくなる・還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

## （1）働きやすくする 【1 / 2】

### ◇取組内容

- 地域経済の活性化
- 食・農・畜産・水産業の振興
- 森林環境管理制度の推進・林業の振興

### 【令和3年度 主な取組】

#### ①企業立地促進補助事業(南部・東部地域振興補助金)[R3年度予算 100,000千円]

南部・東部地域に立地する企業活力集積促進補助金の対象企業に対し南部・東部地域振興補助金を加算  
・加算額：固定資産投資額 5億円以上 1千万円  
10億円以上 2千万円

#### ②制度融資 創業支援資金（南部・東部枠）【R3年度融資枠 200,000千円】

奈良県南部地域・東部地域で創業しようとする者を対象とする資金  
貸付限度枠 設備・運転 15,000千円 貸付利率：0.0%  
貸付期間 7年（うち1年据置） 保証料を県が全額負担

#### ③漢方のメッカ推進プロジェクト事業【R3年度予算 28,728千円】

- ヤマトウキの生産量拡大のための機械導入、機械作業の委託に対する支援
- 薬用作物（ヤマトウキ等）について、研究開発された技術の普及を図る
- 奈良県ゆかりの薬用植物の安定供給を目指した研究の実施
  - ・ヤマトウキの地域ブランド力を高める生産技術の開発
  - ・宇陀地域に適した薬草栽培技術の開発
- 県産薬用作物の医薬品以外の部位を利用した新たな食品を開発
  - ・薬用作物の成分分析、機能性評価方法の確立、加工方法の研究
- 奈良県漢方のメッカ推進協議会の運営、講演会の開催。首都圏及び近畿圏での大規模展示会への出展

#### ④リーディング品目支援事業【R3年度予算 6,308千円】

本県農業を牽引するリーディング品目の産地生産力・品質の向上、ブランド力強化、消費拡大を推進

- 次世代に継承できる柿産地振興事業
  - ・高品質果実生産に係る技術実証、縮伐・せん定見本園設置に対し補助、需要のある補完品目に対応する生産対策を支援
- 高級大和茶生産販売促進事業
  - ・米国向け輸出茶生産支援および耕作放棄地茶園の整備への支援

#### ⑤首都圏等での大和野菜等販路開拓事業【R3年度予算 5,741千円】

首都圏での大和野菜等県産農産物の販売を増やすため、新規販路開拓を推進

- ・東京都市場での県産農産物 P R
- ・新規商談機会確保への支援
- ・Eコマース利用促進のための研修会の開催
- ・商談会にブース出展

#### ⑥農地マネジメント推進事業【R3年度予算 80,532千円】

担い手への農地の集積を推進するため（公財）なら担い手・農地サポートセンターによる農地の出し手・受け手のマッチングを実施。センターが実施する農地の賃借による担い手への農地集積。一定割合以上の農地を貸し付ける地域や貸付けにより離農・経営転換する者等に対し、協力金を交付

# 住み続けたいくなる・還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

## （1）働きやすくする 【2 / 2】

### ◇取組内容

- 地域経済の活性化
- 食・農・畜産・水産業の振興
- 森林環境管理制度の推進・林業の振興

### 【令和3年度 主な取組】

#### ①多面的機能支払事業【R3年度予算 284,157千円】

農地及び農業用施設の保安全管理活動や多面的機能の維持管理のための取組等を地域ぐるみで行う活動組織に対し、国の制度と連動し、交付金を交付  
農業生産資源の基礎的保全活動や多面的機能の維持・発揮を支える共同活動への交付

#### ②鳥獣被害防止対策事業【R3年度予算 341,561千円】

被害防止計画に基づき市町村が実施する鳥獣被害防止対策に対し補助  
・被害防除の研修、捕獲活動、緩衝帯整備等  
・地域が一体となった侵入防止柵等の整備  
集落ぐるみの被害対策活動を推進

#### ③県営農地環境整備事業【R3年度予算 53,552千円】

中山間地域の鳥獣害対策や耕作放棄地対策を行うため、計画的かつ一体的に農地環境を整備  
・事業実施箇所：曽爾地区

#### ④奈良県木材生産推進事業【R3年度予算 279,179千円】

大規模集約化団地において、長期間使用できる壊れにくい作業道の重点開設等による木材生産拡大への取組に対し補助。奈良型作業道重点開設。

- ・木材生産強化（利用間伐）
- ・林業機械導入
- ・林業機械レンタル
- ・架線集材施設設置支援

#### ⑤(新) 新たな森林環境管理制度担い手確保事業【R3年度予算 7,850千円】

林業への就業促進のため無料職業紹介所を設置し、新たな森林環境管理制度の構築・推進を担う新規就業者の掘り起こしや県内林業事業者とのマッチングを実施

#### ⑥奈良県フォレスターアカデミー運営事業【R3年度予算 135,420千円】

奈良県フォレスターアカデミーの運営管理

- ・外部講師や教育アドバイザーの招へい
- ・実習用林業機械の整備
- ・スイス式集材システムに関する講師研修の実施
- ・オープンキャンパスの実施
- ・就業準備給付金の給付 等

#### ⑦県産材首都圏販路拡大事業【R3年度予算 18,382千円】

首都圏の商業施設や住宅等への新たな販路の開拓

- ・販路拡大アドバイザーを活用した首都圏等の建築関係者に対するセールスの実施
- ・奈良の木PRイベントの実施
- ・首都圏の建築関係者等を対象とした「奈良の木」見学ツアーの開催

# 住み続けたいくなる・還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

## （２）暮らしやすくする

### ◇取組内容

- 福祉・医療の充実
- 教育・子育て環境の充実
- 道路インフラの整備促進
- 通信インフラの整備促進

### 【令和３年度 主な取組】

#### ①南和地域公立病院整備支援事業【R3年度予算 228,996千円】

南和広域医療企業団による南和地域公立病院整備への支援  
・企業団構成市町村に対する起債償還金補助

#### ②自治医科大学運営費負担金【R3年度予算 128,400千円】

在学生 14人 卒業生 99人（現在44期生まで）  
自治医大卒業医師等の派遣：へき地診療所等派遣人員 9人

#### ③ドクターヘリ運航推進事業【R3年度予算 280,610千円】

県独自のドクターヘリ運航に要する費用に対し補助  
消防機関や国・他府県等、関係機関との調整  
・実施主体：奈良県立医科大学

#### ④へき地診療所医師確保支援事業（へき地診療所への人件費補助）

【R3年度予算 6,298千円】

補助対象：へき地診療所に勤務する医師に係る人件費（自治医大卒業医師等を除く）  
実施主体：山添村、御杖村、天川村、十津川村、川上村  
補助上限：2,400千円

#### ⑤地域包括ケアモデルプロジェクト推進事業【R3年度予算 13,296千円】

地域包括ケアシステムの構築を促進するため、モデルプロジェクトを推進  
・AIを活用した高齢者支援システム構築のためのモデル実施等

#### ⑥**新**ICTを活用した地域リハビリテーション推進事業【R3年度予算 6,000千円】

自立支援・重度化防止を地域に普及させるため、リハビリ等の専門職等から助言を受けることが出来る  
仕組みを構築  
・タブレット端末等を用いた遠隔からのオンライン指導等

#### ⑦南部地域における産業連携教育支援事業【R3年度予算 4,000千円】

南部地域の振興に貢献できる人材を育成するため、職業教育に必要な実習備品を整備  
対象：奈良南高校 ドラフター一式、土質試験機一式

#### ⑧奈良県基幹公共交通ネットワーク確保事業【R3年度予算 197,338千円】

・利用目的に応じた交通サービスを確保するため、広域の路線バス等の運行に対し補助  
・市町村連携による複数市町村をまたぐコミュニティバス等の運行に対し補助  
・補助対象系統を運行するノンステップバス等の導入に対し補助

# 住み続けたいくなる・還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（3）いざというときに備える 【1 / 2】

## ◇取組内容

### ○防災・減災対策の推進

#### 【令和3年度 主な取組】

##### ①五條新宮道路の整備推進（国道168号）【R3年度予算 2,588,250千円】

紀伊半島アンカールートを形成する「五條新宮道路」の早期整備  
事業実施箇所：新天辻工区、阪本工区

##### ②直轄道路事業費負担金（南部・東部）【R3年度予算 7,711,000千円】

事業実施箇所  
・京奈和自動車道、大和御所道路 ほか  
・国道168号 長殿道路、風屋川津・宇宮原工区、十津川道路（Ⅱ期）  
・国道169号 伯母峯峠道路

##### ③災害に強い道路ネットワークの整備推進【R3年度予算 7,534,898千円】

事業実施箇所  
国道169号高取バイパス、五條吉野線、高野天川線、平原五條線、赤滝五條線 ほか

##### ④道路災害防除事業（南部・東部）【R3年度予算 1,888,628千円】

道路斜面で崩落等の兆候がある箇所や、法面の危険度、路線の重要度等を総合的に判断して対策を優先すべき箇所では法面・落石の防災対策を実施  
・国道168号外 16路線

##### ⑤道路施設点検・診断事業（南部・東部）【R3年度予算 703,500千円】

効率的・効果的な補修・修繕を実施するため、橋梁・トンネル等の点検を実施

##### ⑥橋りょう耐震補強事業（南部・東部）【R3年度予算 820,442千円】

耐震補強が必要な緊急輸送道路の橋梁の耐震対策を重点実施  
・国道168号大川橋 外5路線13橋

##### ⑦道路施設老朽化対策事業（南部・東部）【R3年度予算 2,680,292千円】

長寿命化修繕計画に基づく補修・修繕を実施  
・五條吉野線紫橋 外26橋  
・国道169号戸賀トンネル 外25トンネル

# 住み続けたいくなる・還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（3）いざというときに備える 【2 / 2】

## ◇取組内容

○防災・減災対策の推進

### 【令和3年度 主な取組】

#### ①直轄河川事業費負担金（南部・東部）【R3年度予算 1,688,071千円】

紀伊山系における大規模土砂災害対策等、紀の川における河川整備

#### ②通常砂防事業（南部・東部）【R3年度予算 2,068,093千円】

砂防設備の設置により、土石流等による被害から人家等を保全

- ・補助事業：黒滝村赤滝地区 外59箇所
- ・単独事業：東吉野村大又地区 外23箇所

#### ③治山事業【R3年度予算 1,091,810千円】

自然現象に起因する山地災害の復旧と未然防止のための施設整備、良質な水や安全な生活を確保するため、水源のかん養や国土保全機能が低下した保安林において森林整備等を推進

- ・山地治山 22箇所
- ・水源地域等保安林整備 2箇所

#### ④南部東部地域河川改良事業【R3年度予算 2,492,713千円】

南部東部地域における治水安全度の向上を図るため、河川改良を実施

- ・紀の川 外21河川

#### ⑤<sup>新</sup>混交林誘導整備事業【R3年度予算 183,200千円】

防災力の高い森林に誘導するため、地域の特性に応じた広葉樹等を植栽するとともに周辺の環境整備を一体的に実施

- ・実施場所 十津川村外 13市町村（事業量 220ha）

#### ⑥スマートハウス普及促進事業【R3年度予算 21,837千円】

緊急時のエネルギー対策及び省エネ対策のため、住宅等へ創エネ・蓄エネ設備を設置する県民に対し補助

#### ⑦大規模広域防災拠点整備事業【R3年度予算 491,881千円】

南海トラフ巨大地震等に備え、2,000m級滑走路を有する大規模広域防災拠点を整備

# 訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

## （1）魅力を知ってもらう

### ◇取組内容

- 魅力の創出と情報発信の強化
- 美しい景観づくりの推進

### 【令和3年度 主な取組】

#### ①奥大和との関わりの場創出事業【R3年度予算 16,059千円】

- ・首都圏等での奥大和地域関係者との交流イベント、雑誌社とのタイアップイベントを開催
- ・東京、奈良で奥大和に関心のある人々が集う「関係案内所」イベントを開催
- ・奥大和に関心のある人々を対象とした移住体験ツアーを実施
- ・地域課題の解決に向け、大学生を対象に課題解決型インターンシップを実施

#### ②奥大和プロモーション事業【R3年度予算 45,250千円】

様々な媒体・手法を用いた奥大和の魅力発信

- ・大手旅行雑誌と連携した地域情報・観光情報の発信
- ・奥大和の暮らしや仕事を伝える映像の制作・配信
- ・奥大和地域を舞台とする映画制作補助
- ・鉄道事業者と連携した奥大和の魅力を発信する旅行商品の造成、PR 等

#### ③新市場開拓キャンペーン事業【R3年度予算 21,860千円】

- ・中華圏誘客促進コーディネーターを設置し、中華圏市場からの更なる誘客を促進
- ・SNSを通じて知られざる奈良の魅力を海外に継続的に発信し、潜在的な訪奈良需要の喚起、誘客を促進
- ・SNSを活用したインバウンド誘客プロモーションの展開

#### ④奈良県観光キャンペーン事業【R3年度予算 187,000千円】

奈良の歴史的催事（聖徳太子没後1400年等）やガストロノミーツーリズムを核としたイベントやプロモーションの展開、誘客促進のための旅行商品造成や商談会を実施

#### ⑤「奈良まほろば館」新拠点情報発信強化事業【R3年度予算 4,983千円】

「奈良まほろば館」新拠点において、奈良の観光情報の発信及び企画展示等のイベントを実施

#### ⑥奈良の彩りの推進【R3年度予算 14,243千円】

##### ○「なら四季彩の庭」づくりの推進

場所類型毎のモデルエリアにおいて実施体制を立ち上げ、専門家等の助言を活かしながら、実施計画を策定。市町村、地元との協働による庭づくりを推進。

##### ○「なら四季彩の庭」づくりの普及・啓発

シンボルマークを使用したプレート設置  
賛同団体への花苗・ステッカー等の提供  
きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナルの発行

##### ○市町村・地元自治体等への支援

##### ・「なら四季彩の庭」づくり推進補助金

植栽計画エリア内において、植栽等による景観の向上に取り組む市町村や地元団体等に対し補助

対象：景観阻害要因の排除、玄関口や移動空間の魅力向上、眺望景観の向上等 宇陀市、天川村

##### ・植栽協働管理推進事業

植栽計画のエリア内における植栽整備後の維持管理について、地元団体等との協働による取組を定着させるため、県整備箇所維持管理を行う地元団体等に対し、奨励金や軍手等物品を支給

##### ・「なら四季彩の庭」づくりアドバイザーの派遣（技術的支援）

# 訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

## （２）魅力を体験してもらう

### ◇取組内容

- 滞在型・宿泊型観光の推進
- 地域の魅力を活かした文化・スポーツ・食イベント等の実施

### 【令和３年度 主な取組】

#### ① 奥大和地域誘客促進事業【R3年度予算 50,000千円】

奥大和地域を舞台に、歩きながらアート作品を巡り、歴史・自然環境等を再発見できる芸術祭「MIND TRAIL」を開催

時期：令和３年10月上旬～11月下旬（予定）

#### ② 奥大和の特色を活かしたイベント事業【R3年度予算 20,390千円】

奥大和地域で住民や県内外から様々な人が参画して開催される地域の特色を活かしたイベントの開催等

- ・弘法大師の道を活用したトレイルランニングイベント「Kobo Trail 2021」の開催  
令和3年5月15日～16日（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会開催を中止）
- ・ロングトレイル推進のため、奥大和を巡るコースを作成し、アプリにより配信 等

#### ③ サイクルスポーツイベント開催支援事業【R3年度予算 6,966千円】

サイクルスポーツ及び地域の振興を図るため、地勢等を活かしたスポーツイベントの開催経費の一部を負担

- ・ツアー・オブ・奈良・まほろば  
時期 令和3年8月（予定）  
場所 宇陀市、山添村、曾爾村、御杖村、東吉野村、奈良市
- ・モバイルグランfondin奈良・吉野  
時期 令和3年4月～令和4年2月（予定）  
場所 五條市、宇陀市、曾爾村、吉野町、黒滝村、天川村、野迫川村、上北山村、川上村、東吉野村他、県内各市町村
- ・ヒルクライム大台ヶ原since2001  
時期 令和3年9月（予定）  
場所 上北山村（大台ヶ原ドライブウェイ）

#### ④ 「うまし奈良めぐり」推進事業【R3年度予算 27,000千円】

オフシーズンに全国からの誘客を促進するため、県内社寺や市町村等と連携して特別感ある旅行商品を造成するとともに、全国の旅行会社等での商品展開を図り、奈良の夏・冬の魅力を全国に発信

- ・県内社寺等における特別企画イベントの実施
- ・鉄道事業者やWEB等の広報媒体を活用した広域広報
- ・専用パンフレットの制作

#### ⑤ 直轄道路事業費負担金（南部・東部）【R3年度予算 7,711,000千円】

再掲

事業実施箇所

- ・京奈和自動車道、大和御所道路 ほか
- ・国道168号 長殿道路、風屋川津・宇宮原工区、十津川道路（Ⅱ期）
- ・国道169号 伯母峯峠道路

# 訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

## （3）移り住んでもらう

### ◇取組内容

- 市町村等と連携した移住・定住支援
- 若者をターゲットとした移住施策の推進

### 【令和3年度 主な取組】

#### ① 奥大和移住定住促進事業【R3年度予算 49,412千円】

奥大和地域の移住相談体制や地域受入体制、移住者拠点施設等の整備を進めるとともに、同地域の生活環境を向上させることにより、移住・定住を促進。

- ・奥大和地域19市町村と協働で設置した「奥大和移住・定住連携協議会」で統一的な移住・定住施策を実施
- ・コミュニティナースの育成講座や研修を実施し、奥大和地域内での活動をサポート

#### ② 奈良県の宝物開催事業【R3年度予算 5,500千円】

奥大和地域内での生産者、加工・販売者等がセミナー・地方大会を通じて異分野人材と協業し、新規事業開発および販売拡大を促進

#### ③ 奥大和雇用創造促進事業【R3年度予算 10,385千円】

奥大和地域への移住・定住を促進するため、魅力ある仕事づくりを推進

- ・国内及び海外デザイナーが奥大和に滞在し、デザイン制作やブランディングを提案するプログラムを実施
- ・奥大和で働く魅力を広く発信し、新たな雇用を創出

#### ④ 奥大和人材育成事業【R3年度予算 13,230千円】

- ・奥大和地域での持続可能な地域づくりを学ぶ講座の開催
- ・奥大和地域で活躍する人材を育成する講座の開催
- ・持続可能な宿泊施設経営に向けた研修会の実施

#### ⑤ 農業新規参入者支援事業【R3年度予算 5,418千円】

新規就農希望者に対し、なら食と農の魅力創造国際大学校での基礎研修及び農家受入による実践研修を実施

#### ⑥ ① 新たな森林環境管理制度担い手確保事業【R3年度予算 7,850千円】

林業への就業促進のため無料職業紹介所を設置し、新たな森林環境管理制度の構築・推進を担う新規就業者の掘り起こしや県内林業事業者とのマッチングを実施

再掲

# 力強い市町村づくり

## (1) 「奈良モデル」の実行

### ◇取組内容

○市町村と連携したまちづくりの推進

○「奈良モデル」の推進

### 【令和3年度 主な取組】

#### ①市町村とのまちづくり連携推進事業【R3年度予算 157,000千円】

まちづくりを進めている市町村と段階的に連携協定を締結し、協働してまちづくりを推進するため、市町村の取組に対し補助

- ・五條市、宇陀市、山添村、高取町、上北山村、川上村、東吉野村 ほか

#### ②ごみ処理広域化奈良モデル推進事業【R3年度予算 4,600千円】

複数市町村が連携して実施するゴミ処理施設の整備に対し補助

- ・さくら広域環境衛生組合
- ・山辺・県北西部広域環境衛生組合

#### ③県域水道ファシリティマネジメント推進事業【R3年度予算 851,181千円】

市町村水道の水源の県営水道への転換及び市町村水道との連携に伴う送水施設等の整備

#### ④簡易水道等整備推進事業【R3年度予算 132,210千円】

簡易水道等整備推進事業

- ・市町村が整備する簡易水道事業等の公債費に対し補助
- |       |                  |
|-------|------------------|
| 対象市町村 | 十津川村 外12市町村 30事業 |
| 補助対象  | 国庫補助対象事業費        |
| 補助率   | 過疎・辺地 16%        |
| その他   | 20%              |
| 補助方法  | 事業実施翌年度から10年分割補助 |

簡易水道事業等災害復旧事業

- ・紀伊半島大水害による簡易水道施設等の災害復旧事業の公債費に対し補助
- |       |  |
|-------|--|
| 対象市町村 | 五條市 外6市村 18事業                            |
| 補助対象  | 国庫補助対象事業費（補助災害復旧事業）<br>起債対象事業費（単独災害復旧事業） |
| 補助率   | 12.5～25%（補助災害復旧事業）<br>20～50%（単独災害復旧事業）   |
| 補助方法  | 事業実施翌年度から10年分割補助                         |

# 力強い市町村づくり

## (2) 市町村行政経営向上への取組支援等

### ◇取組内容

○市町村行政経営向上への取組支援

○地域デジタル化の推進

### 【令和3年度 主な取組】

#### ①市町村振興資金貸付事業【R3年度予算 2,200,000千円】

・市町村が住民福祉の増進等を図るために行う事業に対する貸付

貸付対象 一般地域振興事業、広域振興事業、過疎・辺地等振興事業、県重点施策支援事業、公債費適正化事業

貸付利率 一般地域振興事業：財政融資資金利率

その他の事業：財政融資資金利率×1/2、無利子

貸付期間 15年以内（うち1年据置）

・**新**「重症警報」発令団体が財政健全化を図るために要する経費に対する貸付

貸付対象 地方債の繰り上げ償還等に要する経費

貸付利率 無利子

貸付期間 15年以内（うち1年据置）

#### ②市町村税収確保連携事業【R3年度予算 981千円】

県と市町村が協働・連携し、税収確保に向けた取組を推進

徴収率の向上が進まない市町村に対し伴走型支援を実施

#### ③地域包括ケアモデルプロジェクト推進事業【R3年度予算 13,296千円】

再掲

地域包括ケアシステムの構築を促進するため、モデルプロジェクトを推進

・地域包括ケア推進支援チームによる市町村支援、関係機関等への働きかけ

・AIを活用した高齢者支援システム構築のためのモデル実施等

#### ④**新**ICTを活用した地域リハビリテーション推進事業【R3年度予算 6,000千円】

自立支援・重度化防止を地域に普及させるため、リハビリ等の専門職等から助言を受けることが出来る仕組みを構築

・タブレット端末等を用いた遠隔からのオンライン指導等

再掲

# 南部・東部地域振興のための拠点プロジェクト一覧

分野	テーマ	プロジェクト名称	拠点(資源)
[1]住み続けたく なる、還りたくな る地域づくり	産業・雇用	南部・東部地域における産業集積地の形成	御所IC周辺・名阪国道沿線等産業集積地
	農業・畜産	奥大和地域におけるぐるっとオーベルジュの推進	なら食と農の魅力創造国際大学校
	水循環・森林・林業	みつえ高原牧場の整備	みつえ高原牧場
	福祉・医療	新たな森林環境管理制度の推進	森林(源流)・フォレストーアカデミー
	教育	ICTとラヒホイヤを活用した南和の在宅医療・介護連携	南奈良総合医療センター
	インフラ	南和地域の地域特性を活かした郷土教育の推進	県内教育機関
	防災	各拠点と連携した実学教育の推進	県立高等学校
	観光・文化	紀伊半島アンカールト等の整備	地域全体
	移住	大規模広域防災拠点の整備	大規模広域防災拠点
	行政	「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録推進	飛鳥宮跡ほか
[2]訪れてみたい なる地域づくり	観光・文化	奥大和地域におけるぐるっとオーベルジュの推進(再掲)	なら食と農の魅力創造国際大学校
	移住	南部地域のゲートウェイとなる拠点づくり	新拠点(観光・スポーツ)
[3]力強い市町 村づくり	移住	奥大和地域におけるガストロノミーツーリズム	温泉・スポーツ環境・食
	行政	「ワーケーション」を活用した移住・定住の促進	engawa、移住体験施設等
		地域デジタル化の推進	地域全体

※テーマ・プロジェクトは毎年、進捗管理を行うとともに、随時更新していきます。

